

令和3年第4回熊野町議会全員協議会

会議録

1. 招集年月日 令和3年4月30日

2. 招集の場所 第1委員会室

3. 開会年月日 令和3年4月30日

~~~~~○~~~~~

4. 出席議員（16名）

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1番 水原耕一  | 2番 福垣内邦治  |
| 3番 光本一也  | 4番 中島数宜   |
| 5番 尺田耕平  | 6番 竹爪憲吾   |
| 7番 諏訪本光  | 8番 沖田ゆかり  |
| 9番 片川学   | 10番 時光良造  |
| 11番 民法正則 | 12番 荒瀧穂積  |
| 13番 山吹富邦 | 14番 山野千佳子 |
| 15番 中原裕侑 | 16番 大瀬戸宏樹 |

~~~~~○~~~~~

5. 欠席議員（0名）

なし

~~~~~○~~~~~

6. 説明のため出席した者の職氏名

なし

~~~~~○~~~~~

7. 本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長

西村隆雄

~~~~~○~~~~~

8. 案件

【議会】

(1) 意見交換会について（協議）

(2) 常任委員会等の委員選任について（協議）

(3) その他

9. 議事の内容

(開会 9 時 4 4 分)

○議長 (大瀬戸) それでは、ただいまから全員協議会を開会いたします。

本日は、議会からの協議案件 2 件を協議いただくこととしております。

それでは、早速協議に入ります。

協議案件、意見交換会について協議をいたします。

先月、それぞれの常任委員会のほうからの意見を頂きました。そこで一番ネックとい  
いましょうかポイントになったのがワールドカフェの話でございました。ワールドカフ  
ェについて今月は少しお話をしていただきたいと思います。

ワールドカフェにつきましては、前回のときに議会運営委員会のほうで協議してみる  
ということでもございましたので、議会運営委員会に諮りまして協議をされました。それ  
について、議会運営委員長の時光委員長からそのときの様子をお願いいたします。

○10番 (時光) 4月23日に議会運営委員会を開きまして、このワールドカフェをど  
うするかということについて意見を出していただきました。

この議会運営委員会報告書にも載っておりますけど、まず議長のほうが教育長のほう  
へ、どのようにするかというようなお話を持っていかれたそうです。それで教育長のほう  
からはコロナの影響が大分和らいでいるので、議会で教員の負担を懸念していたりと  
かしていることはありがたいけど、次年度からは高校入試にプレゼン能力のような内容  
が取り入れられるようであると。入試を控えそのような場で発言することは力をつける  
意味でもよいと思う。ただ人数は検討いただきたいと、そのほかの方向での御返答はあ  
ったようなんですけど、議員の中での意見では、約半数の方はやはりコロナのほうが先  
行きが見えないということですので、今年度はやめたほうがいいんじゃないかという御  
意見と、一つにはこちらのほうから一応教育長のほうへ話を持っていってしますので、こ  
ちらから投げかけている話をまた下ろすというのも難しいんじゃないかということで、  
コロナの影響を見ながら開催の仕方を考えていく、もしくは準備だけはしておこうとい  
うような意見が出ました。一応そういう形で、この2通りの意見が出たということで御  
報告させていただきます。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。

今、時光委員長からの報告がございましたように、教育委員会のほうはこれはいいことだというようなことでございましたが、状況が状況だけに、まだその話をしたときはちょうど熊野町が、最近ちょっと出ておりますけれどもコロナの陽性患者が、その直前だったものですから、まだコロナが弱かったときではありました。そういった様子からこの間の議運で今のように慎重な意見も多かったということでございます。

これにつきまして皆さんの率直な意見を聞かせていただけたらと思いますが、いかがでしょうか。御意見はございませんか。

荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 私の思いは、ワールドカフェを見直すという意味は、あのときに回答らしきものを一度つくってます。そのときから町内の状況は変わってきております。トンネルはただになった。渋滞がどんどん弱いところへ出よるんです、どうしても、体と一緒にですから。

そんな状況の中で、それをもう一度吟味し直す、ワールドカフェで一度統一意見、議会としての統一意見は、これはつくってるんですが、状況が変わってきてると思います。だからそれをもう一度議員で検討し直して、プラス今の状況から3年がたって、熊野町の中でプラスどんな町民から要望が出るだろうかと、ちぐはぐな対応をするわけにいきませんので、それを踏まえた上で次に、後ほど御説明しますが、基本条例も調べさせてもらいましたけども、基礎・基本の議員と議会のスタンスを認識し合って、条例化するかは別ですよ。それ以前の議員としての特性というか、品格というか、基礎教養というか、これをもう一度皆さん鍛え直し、共通認識を持って進める必要があるんじゃないかと。

だから前回出してある回答書をもう一度吟味し直すというのが、私のお願いでございます。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 前回の資料をお配りしたと思います、まとめたものを。こういうまとめ方をして前回は終了したということでございました。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○12番（荒瀧） それでこの中をもう一度吟味すると、3年たったから。どこまで完成したか、進んだか。どこかはまた逆に悪くなったと。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（大瀬戸） そういう意見が出ましたがどうでしょうか。

学校とやるかやらないかということで、慎重にしたほうが良いという意見でございましたけれども、ある程度の結論を出さないと間に合わないというような状況がありますので、そこらあたりでどうでしょうか。例えば来月に延ばすと少し忙しくなるぞというようなことがあります。

片川議員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○9番（片川） 結局、ワールドカフェについて教育委員会のほうへ、一応現場へということでお伺いを立てられた以上、お願いに行かれた以上は議会として不細工ですよ、こちらから手を下ろすというのは。

それで実際コロナのことを考えたときに、それは慎重にならざるを得ないという部分もあるんですが、それはお願いに行く前から分かったことですから。だから議長としても議会としても、何も考えずにものを言ってきたのかと。こんな不細工なことはあってはならないと思うんです。コロナというのはもう分かったことですから、それを議論してやめるか、やめるのであれば、こちらから手を下ろすのであれば最初から行くべきではないんです。

一応、お伺いについてそういう反応であれば、また議長が行かれたときと今とじゃまた状況が違うんだという認識を持つのであれば、向こうも持つはずで、教育委員会のほうも。一応議会として発言をした以上は、こっちからイーヘンするような、こんな不細工なことはなかろうと思うんです。じゃけ、それに向けてやる、やらんというのは、この議会内の総意として議長が行かれたと取られるわけですから。

ただ状況が変わったよということで、議長が再度教育委員会と協議しますということであれば、その後この件に関しては論ずれば良いと思うんです。今の段階でこっちのほうからお願いに上がっておって、こっちからやめますというようなものじゃなかろうと思うんです。そう思います。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（大瀬戸） 沖田議員。

~~~~~○~~~~~

○8番（沖田） ちょっと議長にお伺いしたいんですけども、前回この話を学校のほうに持っていかどうかという話が出たときに、私は行かないほうがいいのではないかと、いうことを申し上げたんですけども、文教委員長さんがやっぱりこういうことをやっ  
てるんだよということは一応お知らせして、やるやらないじゃなくて、議会と今までこ  
ういう流れでワールドカフェというものをやってきましたよというお話は一応しておい  
たほうがいいのじゃないかというようなことだったと思うんですが、実際にどういうお  
話のされ方をされたのかなということをお聞きしたいんですが。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） まず局長と2人で教育長に会いに行ったんですけど、まずこういうこ
とを過去に2回ほどやりましたという状況を説明して、それでまた今年にするのかしな
いのかということで議会のほうで話をしましたということで、まずコロナというのが一
番のネックなんですけれど、教育長はどう思っていますかというような感じで聞いてみた
ということです。どうなんでしょうか、忙しいんじゃないですかみたいな感じで。忙し
いし、仮にコロナがなくても忙しいんじゃないですかというような話も、どうですかと
いうような、G I G Aのこととかいう話をしたんですが、それは忙しいのはもういつも
忙しいんだというようなことで、先ほどもちょっと出た受験の方法が変わるんだとい
う話とか、またもちろんあくまでもコロナが今ぐらい、今ぐらいというのがそのときは熊
野にはしばらく出てなかった頃ですけど、県で今ぐらいの状況で推移するならでき
るんじゃないかということでした。

それから、ただ今までやった子供が30人、議員が16人というような大人数で、1
つの部屋でやるという方法は難しいんじゃないかということ、人数制限とか方法
を変えとか、何かせにゃいけんじゃろうけれども、こういうこと自体はいいんじや
なろうかというような話でした。それでそれ以上の具体的な話はせずに、じゃあ持ち
帰ってということでした。それでまた皆さんに今こうやってお話をさせてもらって
おりますという感じです。

沖田議員。

~~~~~○~~~~~

○8番（沖田） 教育長が代わられたばかりということもありますし、ワールドカフェに

臨むまでに、その学校の教員が、主に社会科の教員ですけど、どのぐらい関わって、どのぐらい時間を割いてというところが、御存じないのかなという気はするんですけども、学校現場への聞き取りというか、例えばその両中学校の校長にお聞きしてたとして、両中学校の校長もワールドカフェの経験はない校長ですので、その辺のところはちょっとよく、やはり実態がつかめてないというか、実際に関わったらどのぐらい時間を取られるのかというのは御存じないのかなという気がするんですけども。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 教育長はどの程度を把握されてるのかというのは、正直今は分かりません。

いろいろ聞き取られたのかもしれませんが、過去にやったことがある先生の話とか、当時からそういう話は、意見交換とかがあったのかもしれませんが、そのところはちょっと私は何とも、どのぐらい知っているかというところは、ちょっと推しはかるのは難しかったです。

ただ先生の言うには、教育長が言うには、ある程度はそれは先生だ、準備が当然要るのは分かっていると。けれどもそんなにがつつり時間を取られたりするほどではないのではないかというような意見だったような気がします。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 総合でこれ。総合学科でこれは、プレゼンテーションというのはね。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） どうですか。

諏訪本議員。

~~~~~○~~~~~

○7番（諏訪本） ちょっと教育長に聞かれたのは、私は早急過ぎるんじゃないかなというように思ったんです。だから前から私が言いよるのは、やっぱりとにかく1回目があって2回目はまた違う取組をしたわけです。それから途切れておるわけですから、それを継続してやるかやらないかということについて、やっぱり以前から私が言っておるように、今までは2回やってどういう成果があったのか、要するにいいことはどんなことがあったのか、それで悪かったことはどんなことが課題なのか、それをやっぱり私はきちんと整理しておかなきゃいけないんじゃないかなと思うんです。それを踏まえた上で、それじゃあ続けてやるのなら教育長のところに行くということもあるかも分らんけど

も、要するに何年か飛んで、その後いきなりやる方向でというのは、ちょっと私は早急過ぎるんじゃないかなというように思っております。

やっぱりきちんと整理した上で、やめるのならやめてもいいんです。だからその成果と課題をちゃんと整理せにゃいけんというように私は思っております。

~~~~~〇~~~~~

○議長（大瀬戸） 光本議員。

~~~~~〇~~~~~

○3番（光本） もう行ってしまったんじゃけ、もう時計を戻すわけにいかないので、ただ今聞いた感じのニュアンスじゃ、話しに議長が行かれたと。教育長がそれに対しての意見とか受け取り方もあったでしょうけど、教育長が発した、言葉になるまでに、それぞれの中学校の校長に話をしていないですよ。確認した上で。だから要は議長が議会としていけば前向きに検討するのは当たり前であって、前向きに考えるのは。

ただ具体的に、じゃあそれをするためにはどういうスケジュールでどういった準備が要りますよというものを改めて教育長のところに再度持って行って、するとしたらこれだけの準備が要ります、それでこういうスケジュールになりますというところをやっぱり具体的に出さないと、イエス、ノーが、本当の意味のイエス、ノーが答えられないと思うんよ。

それじゃけやっぱりそれを早急につくって、具体的に今までの諏訪本議員の意見にもありましたように、反省点も踏まえて過去はこうであって、次はこうしたいみたいなどころまで行けばベストだけど、そこまでできるかどうかは別として、今回はこのようなスケジュールで、こういう内容のことを考えておるといようなまだ今の段階の案ではあるが、ただスケジュール的にはこうで、それで学校側としてはこういう準備が要りますよというものをある程度つくった上で、再度検討をお願いしますというように持っていく方をやっぱりせんといけんと思うし、それでその中で当然コロナの状況もどうなるかは分からんけ、それを見ながらというように、本当の意味の具体的に見える化したような進め方というか、教育委員会との共通認識を図りながらというほうがいいかなと思います。

~~~~~〇~~~~~

○議長（大瀬戸） どうでしょうか皆さん。

荒瀧議員。

〇12番（荒瀧） 結局、今年はしないんですね、結論は。

〇議長（大瀬戸） しないというところまではまだいってませんね。

〇12番（荒瀧） だからまだ足元を固めないといかんということで、それで今のプレゼンテーションが高校入試にあるというのは私も初耳なんだけど、一部の子供だけその能力を磨いて、ほかの子供はしないのかという問題も当然出ます。学習指導要領がどうなってるのかというのもあるし、私も勉強不足ですが、みんなでこれは共通認識を持ってワールドカフェをするわけですから、十分そのあたりの教育、指導要領も皆さん共通認識を持って、どういうことを進めていくかという点も補強する必要があろうかと思えます。

私は繰り返しますが、まず前回やっているものをもう一遍再検討し、現状でどこまで、要は意見、見方が変わってきていると思いますから、それで私ども議会としてはどう対応するか。それで今想定されているコロナの問題も、熊野町としては2人になった、それで今度はここへショッピングモールができた、それまで広告を打った、外からどんどん人が入ってくる、物流も変わってきた、コロナのリスクは上がってまいります。このあたりも踏まえながら、議会としてどういうふうに対応するか。

以上です。

〇議長（大瀬戸） 時光議員。

〇10番（時光） 教育長のところに行かれたのが4月16日ですが、それから随分と状況も変わってますので、光本議員、片川議員が言われたように、ある程度のスケジュールも示しながら、いま一度教育長のところへ御相談に行っていた方がいいんじゃないかと、確認のために、いいんじゃないかなと思います。

〇議長（大瀬戸） 皆さんどうでしょうか、そうしましょうか。そのほうが良いという状況であれば。

片川議員。


~~~~~〇~~~~~

○9番（片川） まず行ってね、行ってお伺いをしたということに対してのけじめをつけてこない、なあなあでそれをつけずにこころで協議しましょうというのは、私は順序が違うと思うんです。

それでここで協議して、今回はやめますという結論をまず出すべきでないんです。先にこちらから投げかけているわけですから、その投げかけたことに対して、ちゃんと筋道を立てて話をして、じゃあ今年は無理ですねとおっしゃるか、進めてくださいとおっしゃるか、それでは進めてくださいとおっしゃったときに、こういうリスクがありますよ、懸念されますよということを議長が申されて、その上でも進めようというのであれば、ここでまた協議すればいいんじゃないですか。

一遍行ったことに対してのけじめをつけてこない、議会が不細工なんです。そこだけお願いしたいと思います。その後にしてください。

それで今後のこういう話については、今、荒瀧議員もおっしゃったような意見もありましょうし、ほかの意見も出てくるでしょうから、それはそれとしてという形で進めるべきじゃないのかなと思いますけど。

~~~~~〇~~~~~

○議長（大瀬戸） 皆さん、ほぼ一緒でよろしいですか。

（「はい」の声あり）

○議長（大瀬戸） それでは、今ありましたように、ちょっともう一回詳しいといいますか、案をつくった上でまた教育長とお話をしてみます。それでまたその後で、どうするかというのを検討してもらおうということになると思います。

それでよろしいですか。

（「はい」の声あり）

○議長（大瀬戸） それでは、このことにつきましてはこの程度として、次に移りたいと思います。

~~~~~〇~~~~~

○議長（大瀬戸） 続いて、協議案件、常任委員会等の委員選任について協議をします。

このことにつきましては、前回の全員協議会の際、常任委員会等の委員の任期2年が経過しようとしており、臨時会で改めて選任する必要があることをお知らせし、また各委員の選任方法については議会運営委員会で協議いただき、その結果をお知らせすると

いうことにしておりました。そこでさきの議会運営委員会で協議いただいた内容を説明したいと思います。

まず選任の方法ですが、各議員の皆さんにどの常任委員会を希望されるかを伺うための調査用紙を配付しまして、これは4年前と同じことなんですけれども、こういった調査用紙を後でお配りしますから、これに記入していただいて提出していただきたいと思います。

それでその集計結果をお知らせしますので、定員を上回る常任委員会につきましては、希望者の間で話し合いなどで調整していただいて、そこで調整がつかない場合がもしありましたら、くじ引きとかそういうものも考えられますが、極力話し合いで決めていただきたいと思います。

各常任委員会の構成メンバーが決まりましたら、委員長・副委員長を各委員会で互選していただいて、その後、議会運営委員、議会広報特別委員につきましても、各常任委員会の推薦などによって調整していただくということになります。

また臨時会当日は時間的に余裕がないので、できれば本日、全員協議会終了後、各委員会の構成メンバーを決めておいて、臨時会当日は最終確認をするのみとしたいと思いますということです。

なお、前回の全協の際、副議長が議会運営委員会の委員になることについての質問がありましたが、この件につきましては法律上は禁止されていないので可能ではありますが、実務上、議長の諮問機関である議会運営委員会の委員を兼ねることは、議長に事故、または欠けたときに議長の職務をつかさどる副議長としては適当でないといわれるという報告がなされております。全体的に今お示しした内容が議会運営委員会で協議された内容ということになります。

これに加えて、別途、広報特別委員長のほうから、委員会の構成等について全協に諮りたいという申出がありましたので、そのことについては後ほど協議いただきたいと思います。

いかがでしょうか。各常任委員会等の委員の選任については、今お示ししましたとおり4年前と同じ手法ですが、議会運営委員会で協議された方法で、本日、全協終了後、進めることとしたらと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(大瀬戸) 異議がないようですので、そのようにいたします。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（大瀬戸） それでは、ここで議会広報特別委員長から申出のありました、議会広報特別委員会の構成、定数について協議したいと思います。

諏訪本委員長。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○7番（諏訪本） 現在8名で広報委員会に取り組んで、広報の作成を進めてきております。

いろいろな協議をしてまいりましたけども、随分広報委員会で時間もかけて話もしましたけども、私個人としては6人でということで一遍提案はしたんですけども、いろいろな意見がありました。

それで私らが議員になったときは6人だったんですが、それが8人にしたときの理由としては、3つの常任委員会の方が広報委員会のほうに関わるというようなこともあったりして8名にしたんですが、今の議会だよりを作成する中で、仕事分担であるとかいうようなことも含めていたり、あるいは委員会との関わりを含めていったときに、8人でなければならないという根本的な理由は意見の中ではありませんでした。

広報の中ではいろいろな意見がありましたけども、結果としては一応この全協のほうへ、広報委員会としては6人で議会だよりは作成できるという方向で意見を出すということで、広報委員会のほうは話をしました。最終的にはこちらのほうで、全協のほうで決めていただきたいというように思っております。

以上です。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（大瀬戸） ただいま説明がありました、今回の委員会の改選のこともありますので、どうするかを決める必要があります。

何か今の報告につきまして御意見があったらお願いします。

尺田議員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○5番（尺田） 広報委員会のほうでそういう結論が出されたので、それでいいんじゃないのかなと私は思います。

以上です。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（大瀬戸） ほかにございますか。

時光議員。

~~~~~○~~~~~

○10番（時光） 多分、8人にしたときは何か100号か何かがあって忙しかったかとか、とにかく忙しいから、手が回らないから8人にしたということだったかなと思うんですが、以前はずっと6人だったので、私も広報のほうで6人ということで出しとられるのなら6人でいいと思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（大瀬戸） ないようでしたら、広報委員長の言われるように、議会広報特別委員会の委員につきましては、これまでの8名から6名として、そのメンバーの選任につきましては今までの慣例で、実は申合せで各委員会から2人ずつという申合せがあったようですが、6となるとそうもいきませんのでその縛りを解いて、それで第1期目の議員さんにはこれも慣例で、今までずっと勉強になるからというような理由でやってもらっておりますので、1期目の議員さんと、それからあと2人を自薦、他薦で手を挙げていただくというような形で、今回の委員の改選からこういう形で適用することとしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（大瀬戸） 異議がないようですので、そのようにいたします。

なお、議会広報特別委員会の委員の定数の変更については、熊野町議会広報発行に関する規程も改正する必要があります。この規程については、委員が改選される臨時会の招集日から適用できるよう、議長においてこれを改正し、またメンバーの選任方法については申合せを改めることとしますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（大瀬戸） 異議がないようですので、そのようにします。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 続きまして、その他ですが何かございますか。

荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧）　せんだっての1か月半前になるんですが、基本条例の話が出まして、図書室にこれがございました。それでぜひ皆さんにも読んでいただきたいという御推薦と、それでちょっと目次だけ、皆さん表紙じゃ何が書いてあるかゆうのは、基本的には地方分権一括法が出まして、非常に地方の議会が大事になっております、責任が重たくなっております。

その中で合意形成をしなくちゃいけないと、たくさんの意見があるのをどうやって合意形成に持っていくかということと、二元代表制のもう一度見直しです。日本の文化的体質は談合というか、大統領制はなかったです。アメリカが持ち込んだ地方自治なんです。それで町長と議会という二元代表制をアメリカの占領下の中でしかれたわけでございます。これがしっかり議論、機能しているかどうか、これも問われておるわけでございます。

基本条例をするかしないか以前の話として、議員としての良識というか常識として、こういうものを踏まえた上で物を進めていただきたい。そういう意味では例の1年半前の8年積み重ねた合意形成が、ああいう形でひっくり返るといのは大変不適正な問題があると存じ上げます。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸）　ほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（大瀬戸）　それでは、以上をもちまして全員協議会は終了といたします。

（閉会　10時17分）

上記の記録の内容が正確であることを証するため署名する。

熊野町議会議長

熊野町議会副議長